

第2回

ヒロセ賞

◆ 情報・通信・電気・電子工学分野 ◆

ヒロセ賞受賞候補者推薦要項

【対象者】

情報・通信・電気・電子工学分野において、
顕著な業績をあげた日本国籍を有する研究者を対象といたします。
ただし、文化勲章受章者、文化功労者、日本学士院賞受賞者はヒロセ賞の対象にはなりません。

【推薦者】

ヒロセ賞の推薦は、次に依頼いたします。
本財団より推薦依頼を受けた学会、大学、研究機関の長または部局長

【推薦件数】

1推薦人につき1件（原則1名）とします。

【推薦方法】

推薦人は、所定の推薦書に必要事項を記入し、提出してください。

【推薦締切】

2021年11月30日（火）

【選考方法】

本財団に設置する選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

【選考結果の通知】

選考結果は、2022年2月下旬に、推薦人及び本人に文書で通知します。

【ヒロセ賞の贈呈】

ヒロセ賞の贈呈式は2022年3月に都内にて予定しております。
1賞につき、賞状、賞牌および副賞3,000万円を贈呈（1件）。
なお、受賞者には、受賞の対象となった研究に関する記念講演をしていただきます。

【提出方法等】

- (1) 推薦書（和文）
 - (2) 主要文献3篇の別刷
- PDFファイルを作成し、電子ファイルを提出してください。

【推薦書提出先及び問い合わせ先】

公益財団法人ヒロセ財団
〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27 全特六本木ビル East 5F
TEL: 03-3505-5082 FAX: 03-3505-6790
E-mail: info@hirose-isf.or.jp
<https://www.hirose-isf.or.jp/>

ヒロセ財団は、留学生に対する奨学金及び留学経験のある諸分野の研究者を支援しております

ヒロセ財団は、東証一部上場のヒロセ電機（株）創業者一族の出捐により、当時の同社代表取締役社長の酒井秀樹氏を初代理事長として、文部大臣の認可により、1995年1月に「財団法人ヒロセ国際奨学財団」として設立され、その後2012年4月より公益財団法人に移行、昨年1月には設立25周年を迎えました。

設立当初はアジア諸国からの留学生への奨学援助事業のみの小規模スタートでしたが、奨学生数も年々増加し、これまで延べ2,400人に達しています。また、2015年度からは新たに研究助成事業（アジア留学終了者を対象とし、日本人研究者との共同研究も可）を加えるなど、事業は年々拡充を遂げ、順調に推移しているところです。

そこで、当財団では、設立25周年を機に、公益事業の更なる拡充のため、従来の奨学援助事業、研究助成事業に加え、新たに顕彰事業として情報・通信・電気・電子工学関連分野において顕著な業績をあげた国内の研究者に対する「ヒロセ賞」を創設し、併せて、公益財団法人ヒロセ財団に改称いたしました。



公益財団法人 ヒロセ財団